

# 鳥取城跡の 復元計画について

鳥取城は、戦国時代に羽柴(のちの豊臣)秀吉の兵糧攻めの舞台となった山城として有名ですが、麓の城跡の姿は、鳥取藩32万石の居城として江戸時代に整備されたものです。

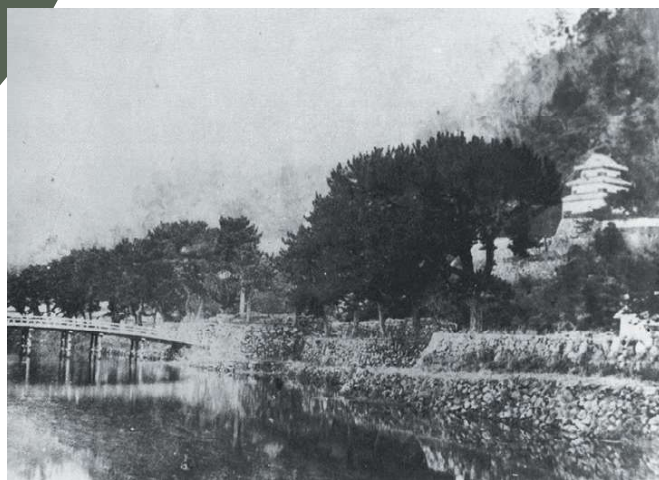
鳥取市では、江戸時代の城の姿を分かりやすく伝えるため、2006年から30年後までに鳥取城の象徴であった二ノ丸三階櫓の復元を盛り込んだ整備計画を立てました。現在、その第一段階として、城の正面玄関であった大手登城路の復元整備を実施しています。



大手登城路の建造物 1871年(明治4)以前撮影



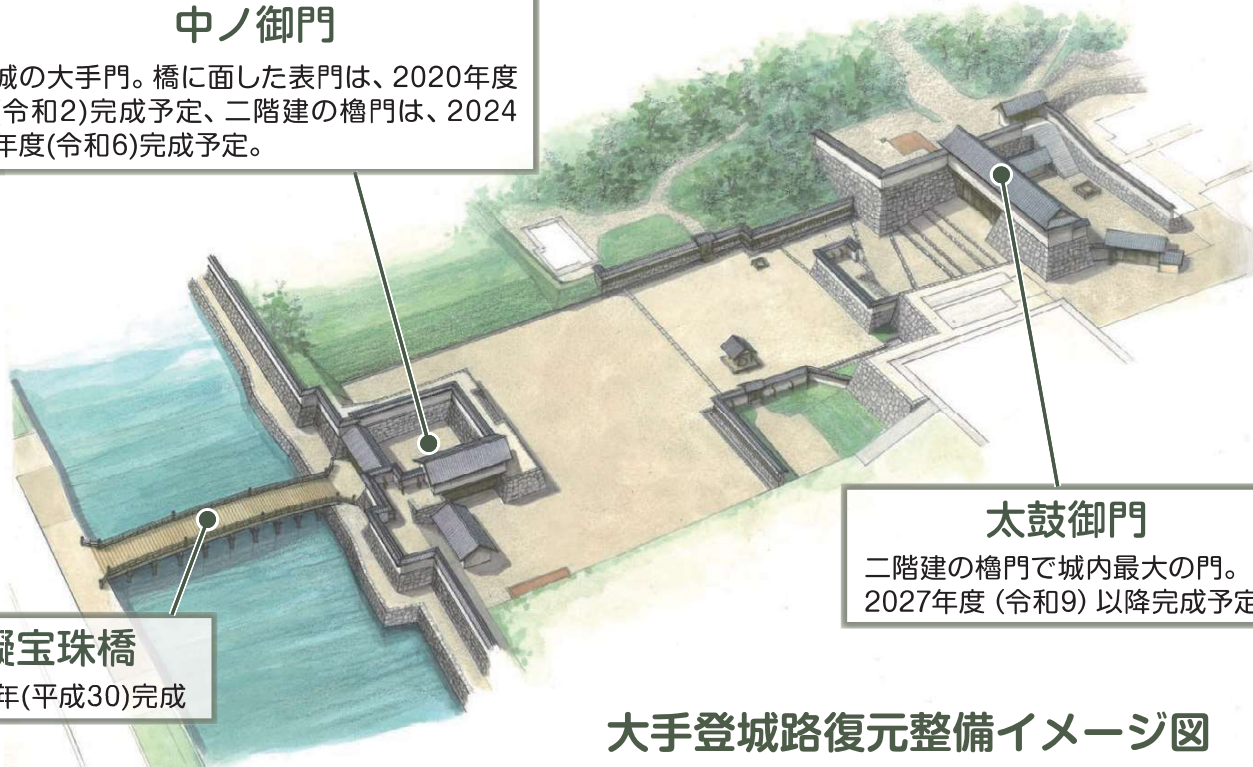
復元整備前の鳥取城跡の様子



擬宝珠橋と二ノ丸三階櫓 1879年(明治12)撮影

## 中ノ御門

城の大手門。橋に面した表門は、2020年度(令和2)完成予定、二階建の櫓門は、2024年度(令和6)完成予定。



## 擬宝珠橋

2018年(平成30)完成

## 太鼓御門

二階建の櫓門で城内最大の門。2027年度(令和9)以降完成予定。

## 大手登城路復元整備イメージ図

鳥取市教育委員会事務局文化財課 鳥取城整備推進係

〒680-8571 鳥取市幸町 71 番地

電話 0857-30-8422 FAX 0857-20-3954

e-mail kyo-bunka@city.tottori.lg.jp

問い合わせ

2019年(令和元) 7月16日発行